

平成20年度
NPO 法人 KOSHUかつぬま文化研究所
総会資料

日時：平成20年5月24日（土）

会場：勝沼中央公民館1階会議室

総会次第

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 認定事項

① 第1号議案 平成19年度事業報告

② 第2号議案 平成19年度決算報告

(2) 議決事項

① 第3号議案 平成20年度事業計画(案)

② 第4号議案 平成20年度予算(案)

4. 報告事項

5. その他

6. 閉会

第1号議案

平成19年度事業報告書

平成19年5月27日から平成20年3月31日まで

(特定非営利活動法人の名称)

特定非営利活動法人

KOSHUかつぬま文化研究所

1. 事業の成果

(1) まち文化の掘り起こし、再発見、再評価の事業

①地域の文化講座

会員以外の参加も募り、本研究所理事、室伏徹を講師とした地域の歴史学習会「室さん講座」開催し勝沼の歴史文化及び隠れた文化を学習した。

②地域文化研修会

会員以外の参加も募り「勝沼トーク」(講演会)を開催し、地域文化に対する認識を深めた。

(2) 都市と甲州市との交流事業

①甲州ぶどう栽培へ参加する都市住民への農業指導

都市との交流型の「ぶどうとワインづくり」を支援、農作業の技術指導を実施した。

②ワインづくり体験事業へ参加する都市住民へのワインづくりの指導

都市との交流型の「ぶどうとワインづくり」を支援、勝沼醸造の協力を得て技術指導を実施した。

③勝沼フットパスの会の創設及び「歩こう勝沼フットパス」事業への協力

当研究所が事務局となり、「勝沼フットパスの会」を創設。勝沼の近代産業遺産や史跡、ぶどう畑やワイナリーを巡る「勝沼フットパスツアー」のガイドを務め、来訪者とホスピタリティあふれる交流を深めた。

④かつぬま朝市における観光案内所「勝沼まち案内処」の開設

勝沼朝市において「勝沼まち案内処」を開設、来訪者へ観光情報を提供するとともに、朝市会場近くを巡るミニフットパスを計画・実施した。

⑤千葉県房総市和田町で開催された菜の花まつりにおけるワインセミナーの開催

千葉県南房総市和田町で行われた菜の花まつりに町内の団体とともに参加した。勝沼ワインセミナーを実施し、勝沼のワイン文化を紹介した。

⑥地域づくり達人指南塾との交流事業

地域資源を活用した新事業活動を展開していく人材を育成する「地域づくり達人指南塾」の12名に勝沼の地域文化を案内、交流を深めた。

⑦飯能市お散歩マーケット研修事業

埼玉県飯能市で行われたお散歩マーケットに参加。当事業を参考に本研究会でも同様の事業を実施していく旨参加者で意見集約。

⑧小田原箱根青年会議所との交流事業

小田原箱根青年会議所の招待を受け、かつぬま文化研究所の活動内容等を講演会で紹介、交流を深めた。

⑨北海道帯広の農業生産者との交流事業

都市との交流事業として帯広を訪問、食材を提供する人々との交流を深めるとともに、食材の提供を通じた地域間の交流のあり方を学習した。

(3) 地域内外取引システムの研究事業

①地域通貨、地域ファンドの調査・研究として、「地域づくりとローカルファイナンスのあり方」研究会（内山節立教大学教授座長）に参加し、地域文化の再生・創造を支える新たな金融の基本的理論を学習した。

(4) まちづくりに関する情報誌発行及び情報の発信

①ホームページの作成と運営

当研究会のHPを開設し、研究所の運営方針、行事案内等の公開等、情報の提供を行った。

②情報誌の発行

KOSHUかつぬま文化研究所だよりを2回発行し、地域文化の紹介や研究会で行う事業の紹介に務めた。

(5) まちづくり活動の記録の編集発行

当研究所で行った講演会の講演録を作成し、HPで公開した。

(6) 行政とのパートナーシップ事業

甲州市観光産業部観光課の主催する「歩こう勝沼フットパス」にボランティアスタッフとして参加し、主体的な運営に携わった。

(7) まちづくりの拠点運営

当研究所の事務所を勝沼志民役場として活用し、学習会、交流事業、定例会等に活用した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
まち文化の掘り起こし、再発見・再評価の事業	歴史学習会「室さん講座」の開催	毎月第3木曜日	勝沼志民役場	6	一般県民 86	0
	「勝沼トーク」(講演会)開催	8月18日	勝沼防災センター	15	甲州市民 28	20
	1. 場所文化の発見と地域の創造を目指して	10月21日	勝沼市民会館	18	甲州市民 23	0
	2. 地域医療を支えるために 今、わたしたちに出来ること	11月9日	勝沼市民会館	16	甲州市民 42	0
	3. 遊び仕事の記憶と農村伝承	2月26日	勝沼志民役場	6	甲州市民 18	0
	4. 甲州種ワインの可能性	3月14日	勝沼図書館	25	一般県民 42	15
都市と甲州市の交流事業	1. 甲州ぶどう栽培へ参加する都市住民への農業指導	4月~10月	勝沼町	6	都市住民 47	0
	2. ワインづくり体験事業へ参加する都市住民へのワインづくり指導	10月、12月、2月	笛吹市	8	都市住民 31	0
	3. 勝沼フットパスの創設及び「歩こう勝沼フットパス」事業の実施	10月18日 12月2日	勝沼町	17	都市住民 一般県民 135	0
	4. 勝沼朝市における観光案内所「勝沼まち案内処」の開設	2月、3月	勝沼町	4	都市住民 326	39
	5. 千葉県和田町で開催された菜の花まつりにおける勝沼ワインセミナー事業	1月13日	南房総市	8	南房総市 市民 14	0
	6. 地域づくり達人指南塾との交流事業	1月12日	勝沼町	8	都市住民 19	0
	7. 飯能市お散歩マーケット研修事業	11月18日	飯能市	6	甲州市民 6	0
	8. 小田原箱根青年会議所講演事業	11月15日	小田原市	2	小田原 市民 36	0
	9. 北海道帯広の農業生産者との交流事業	1月16日、 17日	帯広市	4	都市住民 帯広市民 21	0
地域内外交易システムの研究事業	「地域づくりとローカルファイナンスのあり方」研究会(内山節立教大学教授座長)への参加	5月10日 7月8日 12月8日	東京都 甲府市	2	都市住民 18	0
まちづくりに関する情報紙発行及び情報の発信	当研究会のホームページの開設運営事業	4月~3月	勝沼町	5	HP閲覧者 612	0
	KOSHUかつぬま文化研究所だより発行事業	8月及び2月	勝沼町	8	甲州市民 等 600	23
まちづくり活動の活動記録の編集発行	活動記録の作成	4月から3月	志民役場	10	甲州市民 等 150名	0
行政とのパートナーシップ事業	甲州市役所観光課との協働事業「勝沼フットパス」の実施	12月2日	勝沼地域	10	甲州市民 等 50名	0
(4) まちづくり活動の拠点運営	勝沼志民役場の運営事業	4月~3月	志民役場	15	甲州市民 等 65	30

第2号議案

19年度特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書

平成20年3月31日現在

科 目	金額(単位:円)		
(資金収入の部)			
I 経常収入の部			
1. 会費・入金収入			
運営会員	95,000		
一般個人会員	39,000		
一般団体会員	6,000		
賛助会員	95,000		
		235,000	
2. 事業収入	0		
		0	
3. 補助金等収入			
文化協会事業助成金	3,000		
		3,000	
経常収支合計(A)			238,000
II 経常支出の部			
1. 事業費			
まち文化の掘り起こし、再発見・再評価の事業	45,231		
都市と甲州市の交流事業	39,825		
まちづくりに関する情報誌の発行及び情報の発信	23,000		
まちづくりの拠点運営	30,000		
		138,056	
2. 管理費			
通信運搬費	8,085		
消耗品費	1,850		
図書費	1,520		
参加会費	3,600		
支払い手数料	120		
雑費	7,480		
		22,655	
経常支出合計(B)			160,711
経常収支差額(C)=(A)-(B)			77,289
III その他資金収入の部			
固定資産売却収入	0		
		0	
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部	0		
		0	
その他資金支出合計(D)			0
当期収支差額(E)=(C)-(D)			77,289
前期繰越金収支差額(F)			38,884
次期繰越金収支差額(E)+(F)			116,173

(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1. 資産増加額			
当期収支差額(再掲)		77,289	
2. 負債減少額		0	
増加額合計			77,289
VI 正味財産減少の分			
1. 資産減少額			
当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)		0	
2. 負債増加額		0	
減少額合計			0
当期正味財産増加額			77,289
前期繰越正味財産額			38,884
当期正味財産合計			116,173

19年度特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

平成20年3月31日現在

(特定非営利活動法人 KOSHUかつぬま文化研究所)

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金	38,884		
現金	77,289		
流動資産合計		116,173	
2. 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			116,173
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		38,884	
当期正味財産増加額(減少額)		77,289	
正味財産合計			116,173
負債及び正味財産合計			116,173

監査報告書

NPO 法人 KOSHUかつぬま文化研究所

代表理事小 沢 正 光 様

私は、NPO 法人 KOSHUかつぬま文化研究所の平成19年度の収支計算書及び貸借対照表について監査を行ないました。監査の結果、会計処理手続きは公正妥当と認められ適性に表示しているものと認められます。

平成20年4月15日

NPO 法人 KOSHUかつぬま文化研究所

監事

広 瀬 敏

印

（特定非営利活動法人の名称）

特定非営利活動法人

KOSHUかつぬま文化研究所

1. 事業計画

（1）まち文化の掘り起こし、再発見、再評価の事業

①地域の文化講座

会員以外の参加も募り、本研究所理事、室伏徹を講師とした地域の歴史学習会「室さん講座」を開催し勝沼の歴史文化及び隠れた文化を学習する。

②地域文化研修会

会員以外の参加も募り「勝沼トーク」（講演会）を開催し地域文化に対する認識を深める。

（2）都市と甲州市との交流事業

①甲州ぶどう栽培へ参加する都市住民への農業指導

都市との交流型の「ぶどうとワインづくり」を支援、甲州ぶどう栽培の技術指導を実施する。

②ワインづくり体験事業へ参加する都市住民へのワインづくりの指導

都市との交流型の「ぶどうとワインづくり」を支援する。甲州ぶどうを原料としたワインづくりの作業に町内ワイン醸造メーカーの協力を得て技術指導を実施する。

③「歩こう勝沼フットパス」事業の実施

当研究所が事務局の「勝沼フットパスの会」を中心に、勝沼の近代産業遺産や史跡、ぶどう畑やワイナリー、各集落を巡る「勝沼フットパスツアー」を研究・実施するとともに、まちのソムリエ（ガイド）を務め、来訪者とホスピタリティあふれる交流を深める。

④かつぬま朝市における観光案内所「勝沼まち案内処」の運営

勝沼朝市において「勝沼まち案内処」を運営し、来訪者へ観光情報を提供するとともに、朝市会場近くを巡るミニフットパスを実施する。

⑤千葉県房総市和田町で開催される菜の花まつりにおけるワインセミナーの開催

千葉県南房総市和田町で行われる菜の花まつりにおいて勝沼ワインセミナーを実施し、勝沼のワイン文化を紹介する。

⑥地域づくり団体との交流事業

全国で地域づくりを進める団体との交流を深める。県内外の各種団体の要請に応じて、勝沼を紹介するセミナー等を実施する。

(3) 地域内外交易システムの研究事業

①地域通貨、地域ファンドの調査・研究として、「地域づくりとローカルファイナンスのあり方」研究会（内山節立教大学教授座長）等の学習会に参加し、地域文化の再生・創造を支える新たな公易システムの基本的理論を学習する。

(4) まちづくりに関する情報誌発行及び情報の発信

①ホームページの作成と運営

当研究会のHPの内容を充実し、研究所の運営方針、行事案内等の公開等、情報の提供を行う。

②情報誌の発行

KOSHUかつぬま文化研究所だよりを発行し、地域文化の紹介や研究会で行う事業の紹介に務める。

(5) まちづくり活動の記録の編集発行

当研究所で行った講演会の講演録、理事会等の会議録を作成し、HPで公開する。

(6) 行政とのパートナーシップ事業

自治体が開催する定款の内容と関連性の深い事業等に主体的に参画し、協働の精神で運営に携わる。

(7) まちづくりの拠点運営

当研究所の事務所を勝沼志民役場として活用し、学習会、交流事業、定例会等に活用する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業計画

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
まち文化の掘り起こし、再発見・再評価の事業	歴史学習会「室さん講座」の開催	毎月第3木曜日	勝沼志民役場	6	一般県民 100	0
	「勝沼トーク」(講演会)開催	毎月1回	勝沼防災センター	15	甲州市民 300	60
都市と甲州市の交流事業	1. 甲州ぶどう栽培へ参加する都市住民への農業指導	4月～10月	甲州市内	6	都市住民 50	10
	2. ワインづくり体験事業へ参加する都市住民へのワインづくり指導	10月、12月、2月	笛吹市	8	都市住民 50	10
	3. 「歩こう勝沼フットパス」事業の研究及び実施	通年及び11月	甲州市内	17	都市住民 一般県民 200	30
	4. 勝沼朝市における観光案内所「勝沼まち案内処」の運営	毎月第一日曜日	甲州市内	10	都市住民 500	30
	5. 千葉県和田町で開催された菜の花まつりにおける勝沼ワインセミナー事業	1月	南房総市	10	南房総市 市民 20	10
	6. 地域づくり団体との交流事業	随時	甲州市内等	10	都市住民 100	10
地域内外交易システムの研究事業	「地域づくりとローカルファイナンスのあり方」研究会(内山節立教大学教授座長)への参加	随時	東京都等	2	都市住民 20	10
まちづくりに関する情報紙発行及び情報の発信	当研究会のホームページの運営事業	4月～3月	甲州市内	5	HP閲覧者 1000	10
	KOSHUかつぬま文化研究所だより発行业	年4回	甲州市内	8	甲州市民等 600	60
まちづくり活動の活動記録の編集発行	活動記録の作成	4月から3月	志民役場	10	甲州市民等 2000名	10
行政とのパートナーシップ事業	自治体が開催する定款の内容と関連性の深い事業等に主体的に参画	随時	甲州市内	10	甲州市民等 200名	20
(4) まちづくり活動の拠点運営	勝沼志民役場の運営事業	通年	志民役場	15	甲州市民等 100	30

第4号議案

平成20年度 事業会計収支予算計画書(案)

特定非営利活動法人
koshu かつぬま文化研究所

科 目	金 額		
収入の部			
1 財産運用収入			0
2 会費・入会金収入			
運営会員会費	5,000円×30名	150,000	
普通会员 個人	1,000円×100名	100,000	
普通会员 団体	3,000円×5名	15,000	
賛助会員	5,000円×10口	50,000	315,000
3 事業収入		0	0
当期収入合計(A)			315,000
前期繰越収支差額	116,173		116,173
収入合計(B)			431,173
支出の部			
1 事業費			
まち文化の掘り起、再発見・再評価の事業		60,000	
都市と甲州市の交流事業		100,000	
地域内外交易システムの研究		10,000	
まちづくりに関する情報紙発行及び情報の発信		70,000	
まちづくり活動の活動記録の編集発行		10,000	
行政とのパートナーシップ事業		20,000	
まちづくり活動の拠点運営		30,000	
			300,000
2 管理費			
役員報酬		0	
事務局長手当		0	
事務費	30,000円	30,000	
3 予備費			
			30,000
当期収支合計(C)			330,000
当期収支差額(A)－(C)			-15,000
次期繰越収支差額(B)－(C)			101,173

4. 報告事項

1. 都市と甲州市の交流事業：かつぬまフットパス事業

- (1) 4月6日(日)、5月4日(日) かつぬま朝市：まち案内処における「朝市フットパスの開催」。ルート：①護念寺・木村伊助の墓→②最古の甲州葡萄の木→③宮光園・ワイン資料館→④竜憲セラー→⑤ぶどうの国文化館→⑥山梨ワイン
- (2) 4月12日(土)、「都市環境デザイン会議」とのフットパスツアーと意見交換会を実施。ルート：駅前公園～大日影トンネル～トンネルワインカーヴ～柏尾坂広場～勝沼堰堤～太郎堰～祝橋～宮光園

2. 行政とのパートナーシップ事業

- (1) 4月19日(土) 甲州市観光課主催による柏尾坂広場完成記念フットパスツアーへの協力。ルート：駅前公園～大日影トンネル～トンネルワインカーヴ～柏尾坂広場～大善寺
- (2) 5月24日(土) 甲州市立図書館「カムカムクラブ」、勝沼の歴史文化を学ぶ活動への協力

3. 法人運営事業

- (1) 5月8日(木) 理事会：平成20年度総会について